

令和6年度 第2回 品川区医療的ケア児等支援関係機関連絡会

**品川区 医療的ケア児地域生活支援促進事業運営業務委託
インクルーシブひろば ベル
令和6年度 活動報告**



認定NPO法人フローレンス 障害児かぞく伴走局
令和6年2月27日

障害児・医療的ケア児の親の想い

酸素チューブが目立って
周りの目が気になる

周りのママとは悩み
ごとが違って、
話しづらい

家で子どもとふたりきり。
煮詰まってしまう

同じ境遇の家族と
つながりたい

幼稚園・学校・将来、
どうなるの？

そんな障害児・医ケア児 家族も安心してこられる場所として

インクルーシブひろば ベル が 誕生しました

ベルが目指すもの

【VISION】

障害児とその家族が、いろんなコミュニティとつながり、
自分らしさを発揮できる社会

【MISSION】

子ども向け：すべての子どもが、わくわくする遊び場をつくる
保護者向け：障害児保護者のあんしん拠点をつくる

概要

- 品川区 医療的ケア児地域生活支援促進事業運営業務委託
- 保育スタッフ・看護スタッフが常駐
(医療的ケア児等コーディネーター含む)
- 親子で利用できる いわゆる子育てひろば

【開館日時】 平日 10:00-13:00／14:00-17:00

【利用料】 無料

【利用対象】 0歳～18歳までの児童

【相談室】 月1回～、1回30分
対面またはオンライン



今年度の施設の利用状況

利用者数	登録世帯数	利用世帯数(延べ)	利用人数
品川区	104(累計:304)	1018	2341
区外	35(累計:138)	90	200
合計	139(累計:442)	1108	2541

集計期間：R6年4月1日～R7年1月末

- ・全登録世帯数のうち、障害児・医療的ケア児の割合は30％程度
(発達障害児・なんらかの疾患・障害児15％、医療的ケア児15％)
- ・疾患・障害例：腎疾患、心疾患、脳疾患、ダウン症、てんかん、知的障害
医療的ケア例：経管栄養、酸素吸入、人工呼吸器のお子さんは数名程度
- ・ベルを知ったきっかけで一番多いのが「友だちの紹介」で54％を占める。

利用状況詳細

- ・今年度、年度途中より一時移転先にて運営を開始。
- ・新規利用登録が139件（2025年1月末現在）と増加傾向。
昨年度（2023年4月～2024年3月）登録は108件。
- ・特に0歳児の登録が増加。背景として、友人同士の口コミで広まり、地域の子育て家庭の利用が多い。リピーターも増えている。
- ・近隣の児発施設や訪問看護事業所から、ベルを紹介されて来館される方も。
- ・また、近隣施設からの団体利用が増加している。
インクルーシブひろばベルが地域の利用者との交流の場になっている。
シーガル（大田区）
パーチェ（大田区）
にじのひろば（品川区）

あそびの提供

【自由あそび】

- ・旧中学校の教室と廊下で広々としたスペースがあり、ゆったりと自由に遊ぶことができる。
- ・日本財団助成金により寄贈されたおもちゃ（80点程）「あそびのむしセット」を2ヶ月毎に入替え、たくさんのこどもたちや保護者のかたにも楽しんでいただいている。



【あそび企画】

- ・絵本の日、リズムの日、ぬりえ遊び、感触遊び、製作遊び、うさぎのつどい（多胎児の会）、おしゃべり会（障害があつたり、発達が気になるおこさんと保護者の会）を企画し任意で参加していただいている。



施設紹介：そののへや

【スヌーズレン】

薄暗い部屋の中で光や音を感じられるお部屋です。スヌーズレンとは、オランダ語の2つの単語、スヌーフレン「鼻でクンクン臭いを嗅ぐ」とドースレン「ウトウトと居眠りをする」の合成語です。『自分で確かめる、探索する』という意味と『ゆったりする・リラックスできる』という意味を持ち合わせています。



施設紹介：医療的ケアのあるお子さんも安心して利用できる食事スペース

【フィーカの部屋】

- ・親子で友人同士で一緒にご飯を食べたり、ゆっくり過ごしていただけるお部屋です。
- ・経管栄養のボトルを吊り下げるフック常備。
- ・医療的デバイスの電源コンセントも使用可能
- ・持ち込んだものを食べることができ、冷蔵庫や電子レンジも利用できます。

フィーカとは…

スウェーデン語で

「甘いものと一緒にコーヒーを飲むこと」
お互いを知るコミュニケーションの時間として大切にされている伝統文化。



イベントを通じた交流のきっかけづくり

インクルーシブな場の醸成、文化を浸透させるために、健常児を含めて、障害のあるこどもと家族（きょうだい）と一緒に楽しめるよう年間を通してさまざまな行事も開催しました。地域内の子育て関係機関との連携も大切にしています。

■夏祭り R6年 8/14～16開催



■秋のイベント R6年 11/12開催



■地域の子育て支援関係機関とのつながり

- ・『聴く』力をみがく講座（講師：NPO法人リスニングママ・プロジェクト） 2024年5月開催
- ・『品川子育てメッセ』 2024年11月参加

相談対応について

- ・ひろば内での会話を通じた相談対応や、相談ルーム「しゃべるのへや」の予約相談を通じて実施。
- ・0-2歳児の利用が多いことから、障害に限らず子育てに関する相談が多い傾向。
- ・必要に応じ、情報提供や子ども家庭支援センター等他機関との連携。

【相談事例】

- ・医療的ケア児の保護者、家族関係の困りごと、傾聴
- ・難病児の子育てについて、社会資源のお伝え
- ・(障害有無に関わらず多い相談として)0-2歳児保護者年齢や発達に応じた関わり方の悩み、傾聴・支援

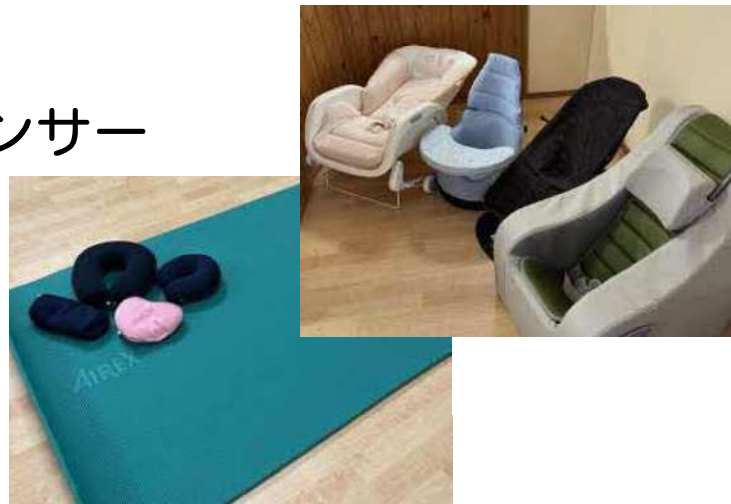


地域資源や療育グッズについての情報提供

館内では、品川区内の子育て支援施設マップの掲示や、医療・福祉に関する情報誌、パンフレットなどの情報提供のほか、療育グッズのサンプルがあり、試してもらうことができます。

【備品】

- ・ベビーラック、バウンサー
- ・座位保持椅子
- ・エアレックスマット
- ・クッションなど



医療的ケア児等コーディネーターの活動について

医療的ケア児等コーディネーターが在籍し、ベル施設や、地域の関係機関で活動しています。

- ベルに訪れた保護者へ、支援機関や親の会についての情報提供やサポート
患者さんの相談を受けた大学病院のソーシャルワーカーさんより連絡を受け、
座位保持椅子の紹介など知っている限りの情報を提供。
- 医療的ケア児家庭が家庭内だけに閉じず、少しずつつなげられる場所を
複数持っていることで、負担軽減につながればと願い活動している。

R7年度に向けて

- ・ 現在の一時移転先では令和7年8月末までの運営になるが、引き続きさまざまな親子に利用いただけるような施策を実行していきたい。
- ・ うさぎのつどい、おしゃべり会、しゃベルの部屋相談ルームなど、地域の社会資源の1つとして継続していきたい。
- ・ 近隣の児発や放デイの活動の一貫としてベルを活用いただくことで、地域に根ざした存在としての価値を発揮していきたい
- ・ 全国からの視察や見学を受入れ、すべての親子がワクワクできるインクルーシブな遊び場を知っていただき、広げていきたい。